

## 2020年6月22日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

-共産主義・近く行われる併合について-

<https://youtu.be/Etl4ohpZ6Hk>

イスラエル・ガリラヤより、シャローム。アミール・ツアルファティです。まず、いくつかの中東のニュースから始めて、さらにヨーロッパ、それからアメリカ、そして、世界で何が起きているのかを理解して行きましょう。

さて、ほんの数時間前より、タタウインの街から、たくさんの映像が届き始めています。リビア国境に近いチュニジアにあります。なぜかという、リビアで混乱が起きているからです。その混乱の多くは、スルタン・エルドアンによるもので、それが、その地域で非常に多くの不安定を引き起こしています。彼らは武器を持ち込んだり、シリア北部から傭兵を連れて来て、基本的に、北アフリカ全域を不安定にし、昔のオスマン帝国のような支配権を取り戻そうとしています。この事が、まさにエジプトのエル・シシ大統領を悩ませていて、基本的に、エルドアンが支援しているイスラム同胞団が、エル・シシを嘲っているのです。彼らがネットで公開したものをお見せしましょう。アラブ首長国連邦が、実際にエル・シシを、チュニジアやアルジェリア、リビアに向けて撃っているのです。これだけでも、イスラム同胞団が、エル・シシと穏健派アラブ世界をあざ笑っていることが分かります。



なぜ、私がそれに言及したかという、現在の穏健派スンニ派には、2つの大きな敵がいることを理解する必要があります。1つはイラン、もう1つはトルコです。シーア派とスンニ派という意味では、彼らの信仰は違いますが、どちらもアラブ人ではありません。トルコ人はアラブ人ではありませんし、ペルシャ人はアラブ人ではありません。そして、これらが今、アラブ世界の問題として立ちまわっているのです。そして、中東に立っている唯一の人物、あるいは唯一の国は誰だと思いませんか？イランとの戦いでアラブ諸国を助けることができ、おそらく、将来的にはトルコとの戦いでも助けられるもの。もちろん、それはイスラエルです。だからこそ今、ここイスラエルでは穏健スンニ派イスラム世界が何を言おうと、誰も恐れるべきではないのです。我々が、数週間後に”禁断の”ヨルダン渓谷を併合する際に。

それでは、レバノンに移りましょう。非常に重要です。レバノン人は今、ジレンマに陥っています。彼らの経済を復活させるための選択肢には条件が一つあって、そのたった一つの条件とは、ヒズボラの武装解除です。そしてもう一つの選択肢は、レバノンの経済と国をゴミにして、ヒズボラに采配を任せることです。ヒズボラの指導者ハッサン・ナスララーは、国民に伝えました。「11月まで、辛抱して待っていてくれ。トランプ大統領が取り除かれれば、我々は前進できるのだ。」皆さん、テロ組織がトランプ大統領が取り除かれる事を望むとき、トランプ大統領が、誰の味方であるか明白です。イランは、彼が取り除かれることを望んでいますし、ベネズエラも、彼が取り除かれることを望んでいます。ヒズボラは、彼が取り除かれることを望んでいます。パレスチナ人やハマスなど、彼ら全員が彼が取り除かれることを望んでいるのです。イスラム同胞団は、彼が取り除かれることを望んでいます。もしこういった全てのものが彼を排除したいと思っているなら、彼が誰の味方であるか分かるでしょう。では、なぜ、レバノン人にとって、トランプ大統領がこれ以上就任しないことが重要なのか？それは最近、シーザー法が施行されたためです。ちなみに、シーザーはジャーナリスト、写真家のニックネームで、数年前に、アサドが国民を拷問していた部屋の写真を密輸することに成功した写真家です。そして、これらの写真は欧米に伝わり、もちろん、欧米の多くの政府にシリア政権の墮落の深さを理解さ

せることになりました。そしてアメリカは、すぐにそれに基づいて行動を開始したのです。そして、トランプ大統領は、数ヶ月前の昨年末、すでにシリアの政権と、彼らとビジネスをしているもの全員に制裁を課す法案に署名しています。そこにレバノンが絡んで来ます。数多くのレバノンの会社やレバノンの複合企業、レバノン政府高官がシリア問題に関与しているのは、文字通りイランが、シリアをレバノン、イラク、イランと結びつけているからで、ナスララーは、シリアのバシール・アル・アサド大統領を助けるために、ヒズボラの全軍を派遣しています。レバノンとシリアが非常に硬く結びついているので、その事で、ほぼすべてのレバノンの銀行やレバノンの企業、サービスプロバイダーに瞬時に影響が及びます。だから、そこにレバノン人へのプレッシャーが重くのしかかっているのです。6月17日に施行され始めたシーザー法が、すでにレバノン経済を圧迫していることを示しています。だから、テロ組織のヒズボラが、こう言っているのです。「ほら、これは全部トランプのせい、彼の狂気のせいだ。心配しないで、あと数ヶ月待っていなさい。彼は取り除かれ、我々は前進するから。」それが今、レバノンで起こっていることです。そして、皆さんに知っていただきたいのですが、これは中東のほぼ全てのテロ組織の願いです。そして、ヒズボラは今、戦術を変えようとしています。彼らは、レバノンの人々に嫌われていることに気づいたのです。今、最大の問題は俺たちだ、と。そこで、彼らは何をしたのでしょうか？昨日、彼らは、「任務完了」と書かれた写真とビデオをツイートしました。つまり、自分たちはすでに精密兵器工場をフル稼働させ、目標を達成したとイスラエル側に思わせたかったのです。そして彼らは、イスラエルの重要な高度セキュリティ設備をGPS座標で表示するビデオを公開しました。そして、基本的に、こう言っているのです。「おい、我々には、お前たちに命中させる能力があるのだ。」しかし、これは、ただ人を威嚇したい人間の戦術です。イスラエル人は、ハッサン・ナスララーと彼の嘘と欺瞞に手なづけられていましたが、それはもうありません。もはや、ありません。イスラエル人が、もはや彼を信じていないだけでなく、レバノン人でさえ、もう彼を信じていません。我々が目にしているのは変容し続ける中東で、イスラエルが、唯一、安定した国であり、それをアラブ人は見上げ、繋がり、良好な関係を結びたいと願っている様子です。

そこで、次は間近に迫るヨルダン渓谷の併合です。「併合って、どういう事だ？」と理解していない人が多いんじゃないでしょうか？ですから、ご説明いたします。1948年にイスラエルが誕生し、独立戦争のまさにその時、ヨルダンが侵攻し、ユダとサマリアを占領しました。それは、預言者たちがいつも話していたイスラエルの山々です。ここは族長たちが歩いた場所、彼らが住み、彼らが埋葬されている場所です。旧約聖書の多くが、ここで起こりました。そして興味深いことに、ヨルダン人が侵略して、それらの山々を奪い、1967年、イスラエルは、ヨルダン人をヨルダン川の向こう側の、あるべき場所に押し戻しました。そして、史上初めて、実際の所有者ではないものから、我々が“占領”した「占拠地」と呼ばれる土地を我々は持ちます。ヨルダン人は、ユダヤ・サマリアの所有権を主張していません。この時初めて、「パレスチナ」という、存在しなかった国に、世界が、ある種の地位を与えているのです。彼らは一度も存在しなかったし、パレスチナという国家は存在しませんでした。彼らは存在していませんでした。彼らは、おもに移住したアラブ人で、ユダヤ人が、その故国に戻った時に、機会があるのを見て移住して来たのです。ジョーン・ピーターズの「ユダヤ人は有史以来」という本の全編を読んでください。しかし筋書きは、今や、イスラエルが西岸と呼ばれるユダヤとサマリアを占領したというのです。さて、イスラエルは今、生まれて初めて、東の国境となる場所を併合しようとしています。信じられないかもしれませんが、我々には国境があるのです。しかし誰にも認められていません。お見せしましょう。これは西岸の地図です。ご覧のように、イスラエルを中心部にあります。そして、ヨルダン川の向こうには、ヨルダンがあるのが分かります。そして、オレンジ色に着色された部分を見てください。これは、北から南は死海に向かって走るヨルダン渓谷で、見ての通り、死海の北側の一部もそうです。イスラエルは、その部分を併合しようとしていて、つまり、そこを、イスラエル国家の一部として宣言しようとしているのです。そこに住んでいる人は、自動的にイスラエルの市民権を与えられます。そして、それによって、現代のイスラエルが生まれてから初めて、我々が、東側の国境の完全な主権者である事を認識されるようになり



ます。さて、我々は誰かから土地を奪うのではありません。私たちは、この土地を私たち自身の相続地として取得しています。ほら、すでにそこには、たくさんのイスラエル人が住んでいて、イスラエル軍がそこにはいます。ほら、併合しても、誰も自分の家から追い出されたり、避難させられる事はありません。パレスチナ人は、パレスチナの村に住みます。イスラエル人は、イスラエルの入植地に住みます。そして、軍は過去50年間続けてきたように、今後も、続けてヨルダンとの国境をパトロールします。信じてください。ヨルダン人は、パレスチナ人ではなく、イスラエル人が国境にいることを望んでいます。そして、我々がしている事を見てください。私たちは、そのオレンジ色の土地を取り、パレスチナ人が、もうヨルダンを乗っ取って、イスラエルへの脅威となる巨大複合企業をつくり出す事が出来なくなる状況を作っているのです。はっきりさせておきましょう。パレスチナ人は、すでに一度ヨルダンを乗っ取るうとしたことがあります。彼らは、1970年9月の「黒い9月事件」で、ヨルダン国王を殺そうとしました。イスラエルの助けがなければ、フセイン国王は殺されて、倒されていたでしょう。後にヤセル・アラファトは、女装してヨルダンからエジプトに密入国したのです。ブサイクでしたが、女の格好をして。そして皆さん、これは空想ではありません。これは、もうすでに起きたことです。ヨルダン王は、今現在、安定した王座とはいえません。ですから、ヨルダン渓谷を併合することで、我々は、その地域の支配力を強化しているだけでなく、パレスチナ人が、ヨルダン王を倒して、乗っ取り、そして我々に不利になるものを作り出す将来の可能性を阻止しているのです。だから皆さん、ホワイトハウスに最も友好的な大統領がいる、今がチャンスなのです。そして、その理由は？ほら、皆さんはこう言うでしょう。「ああ、恐ろしいことになるぞ！ああ、きっと世界は終わりを迎えるだろう！」いいえ、見てください。エジプト人は今、リビアで起こっている事で、別の頭痛の種を抱えています。それから、エリトリアとエチオピアで起こっていること。ナイル川から、ナイルデルタ地帯に至るまで、水が流れておらず、エジプト人は、あちらでその問題を抱えています。そして、アラブ人は、トルコやイランに脅かされています。また、さらに多くの事が起こっているのをお見せできます。今、チュニジアで何が起きているのか、見てもらいたいと思います。



これは、シリア南部の都市ダラアの東側の幹線道路にできたクレーターで、

前にも言ったように、チュニジアで暴動が起きています。見てみましょう。現在の、チュニジアの暴動です。今、お見せしています。これをご覧ください。皆さん、今、まさにチュニジアで暴動が起きています。これで終わりではありません。暴動もあり、現在進行中のシリア内戦もあります。信じられないかもしれませんが、ちょうど昨日です。この写真を見てください。これは、シリア南部の都市ダラアの東側の幹線道路にできたクレーターで、反政府勢力が、基本的に、爆発物を埋めて爆発させ、兵士9人が死亡、35人が負傷しました。そして多分、バシヤール・アル・アサドの兵士の間では、集計はもっと高くなるでしょう。どうやら、それは内戦が終わっていないだけでなく、そのすべてが始まったのと同じ都市、南のダラアで再燃しています。それだけでは物足りない方は、

これをご覧ください。これは、イラン・リヤルです。皆さん、制裁が効いて、イラン・リヤルは1ドル20万リヤルになりました。今ではもう20万5千リヤルです。つまり、5米ドルを持っている人は、すでにイラン・リヤルで、大富豪になっているのです。ご覧ください。彼らの公式為替レートでは5万です。しかし、ビジネスが実際に行われる通りでは、1ドルあたり20万5千リヤルを超えました。もちろん、その事でイラン人が、“地中海での作戦”を止めるわけがありません。写真があるかどうか、探しているのですが、ええ、作戦行動、ここにあります。ご覧ください。彼らは長距離、中距離、短距離のミサイルをどんどん試しています。彼らは、全資金をつぎ込んで、どんどん武器を開発しています。それが、今のイランの現状です。おそらく、多くの人が聞いているでしょう。もしくは、完全に偏った、リベラルで革新的なイスラエルのメディアを読んでいるなら、そうです。もしあなたが、“エ



これは、イラン・リヤルです。

ご覧ください。彼らは長距離、中距離、短距離のミサイルをどんどん試しています。

ルサレムポスト”、“タイムズオブイスラエル”、“ハアレツ”を読んでいるならば、これらはすべて、革新的なメディアです。これらは、イスラエルの“ニューヨーク・タイムズ”、“ワシントン・ポスト”です。こういうのは、革新的でリベラルな狂信者ですから、私は、こういった新聞からは、ほとんど情報を得ません。しかし、もし、それらの新聞を読むと、アラブ首長国連邦はイスラエルの併合には乗り気ではなく、何らかの形で、イスラエルとアラブ世界の関係改善を打ち切ると脅しているような印象を受けたいでしょう。それはでたらめです。UAE駐ワシントン大使のインタビューをアレンジしたのは、イスラエルのプロデューサー、ハイム・サバン氏です。

さて、イラン人についてお話をしました。アラブ首長国連邦についてお話をしました。ほら、偽メディアは、あらゆる嘘と欺きで、皆さんを煽ろうとしていますが、アラブ人は実際に翌日、アラブ首長国連邦(UAE)の外相が次のように言いました。「我々は、イスラエルと、政治的に意見の相違があるかも知れない。しかし、他の多くの分野で、我々は、イスラエルとの協力関係を続けていく。」ですから、混乱しないでください。アラブ人は、今この瞬間、我々を必要としています。我々が彼らを必要とする以上に。彼らは、我々の諜報を必要としていて、彼らは、我々のサイバーセキュリティを必要とし、彼らは、我々の武器を必要としています。そして彼らは農業や医療の世界、すべての分野で我々の協力を必要としています。だから、それを理解してほしいのです。

では、ヨーロッパについて少しお話ししましょう。彼らは、パレスチナ問題に“取り憑かれている”と言ってもいいくらいです。ヨーロッパは、制裁で脅してありますが、フランスとドイツには、自国の心配をするよう提案します。今のところ、ここにいるパレスチナ人と、このイスラエル人の方が、フランスのフランス人や、ドイツのドイツ人よりもはるかに安全です。今現在、ドイツ最大の都市で何が起きているのかをお見せします。現在の、ドイツで最も大きな都市の一つである、シュトゥットガルト市で



す。これはドイツです。そして先週、私はフランスのディジョン、フランスのパリをお見せしました。ヨーロッパの他の多くの場所でも起きている事は、お見せしたくありません。ヨーロッパよ、余計なお世話ですよ。今、イスラム系の移民が、そちらを乗っ取っています。彼らはもはや、おとなしくそこに座っているではありません。彼らは今、交戦規定を定めています。彼らはパトカーを破壊し、ヨーロッパ中に、警察の「立ち入り禁止」区域があります。

イスラエルに手を出す事は、今は避けた方が良いでしょう。ここは、世界で唯一の安定の島です。併合に関する空虚な脅しは止めた方が良いでしょう。サウジが併合に反対する公式声明を出しましたが、非公式には、サウジの王子は今のところ、私たちの親友の一人です。私たちは、彼がパレスチナ人とアラブ人のためにリップサービスしなければならないことを理解しています。しかし、現実には、今イスラエルと何らかの関係を持っているアラブ諸国は、どの国も、それを手放したり、そのことを止めようとはしないでしょ。ですから理解してください。併合は…、実際、これは最後の開拓です。イスラエルがヨルダン渓谷を併合しないなら、実際、別のCHAZが作られるのを、許すこととなります。CHAZは、シアトルのキャピトルヒル自治区です。(The Capitol Hill Autonomous Zoneの略称)なぜでしょう？これはまさに、パレスチナ人が作りたいものだからです。イスラエルは立ち入り禁止、法律も秩序もない、やりたい放題の領域です。それだけでなく、彼らはイスラエルの一部になりたがり、自分たちの地域に、イスラエル人を一人も入れたく無いのです。だから今、私たちが東部に我々の国境を作り、我々が主権を持つ入植地を持ったとき、彼らは、イスラエルの中心部に独自のものを作り出し、我々がすべき事が行えないよう我々を完全に麻痺させるというそのトリックに、“さようなら”できません。

さて、次にお話ししたいのは、これはアップデートの第二部です。ある街で起きたことを、ご紹介したいのですが…。ところで忘れないうちに…。ここ数週間、特にここ数日は、インドと中国の衝突が、ほぼ毎日のように起きています。現在のインド人の抗議の様子をお見せしたいと思います。インド人が中国に抗議しています。ご覧ください、これは中国の最高指導者で、彼らは、習の画像と人形に火をつ

けて燃やしています。ここ2週間ほどで、物凄く多くのインド兵が中国人に殺されました。明らかに、中国はその部分にも手を出そうとしていて、インド人は、それを快く思っていない。これが、ここで起こっていることです。そして私は、それについて聖書的に考えています。反キリストがヨーロッパから台頭して来るとき、何らかの形で、世界のその部分を忙しく保つ必要があります。だから、私は思っていたのですが…。あちらで戦争が差し迫っているとすれば？



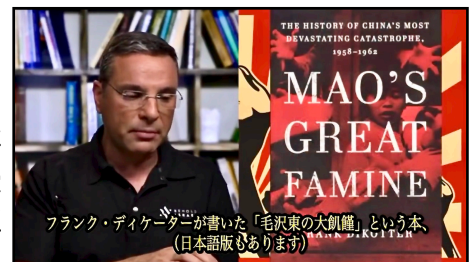
さて、ここで一時停止して、昨日のドイツでの出来事を、ご紹介します。イスラエルに、併合と我々の主権について講釈を垂れているあのドイツです。ドイツで何が起きているかを、お見せしましょう。心に留めておいてほしいのです。トーマス・ジェファーソン、ジョージ・ワシントン、ウィンストン・チャーチル、テディ・ルーズベルト、これらの英雄たちが破壊されているのです。そして、今ドイツで、何が行われているのか、何を祝っているかを見てほしいと思います。ドイツのガイレンキルヒェンという街の話です。皆さん、これをご覧ください。ウラジミール・レーニンです。彼らが振る旗を見てください。皆さん、今ご覧になったのは見間違いではありません。何十年も共産主義に引き裂かれていたドイツが、1990年によくそれを乗り越えて再結成し、ようやく共産主義の恐怖を忘れようとしていたのです。今ご覧になったのは、ウラジミール・レーニンの像の設像です。主要都市が共産党の旗で覆われて、若者が盛り上がっているのです。



す。ちなみに、ヨーロッパの他の地域でも、そしてアメリカでも同様のものが見られます。なぜ私がそれを言うかということ、皆さんに、あるものをお見せしたいのです。いかにアメリカの民主党が、アンティファとブラックライブズマターやメディアと一緒に、彼らが何をしているか見てください。彼らは、すべてを変えようとしています。お見せしたいものがあります。ポスターです。お見せしましょう。これは、中国共産党の創始者である毛沢東の文化大革命のポスターです。そして、これを見てください。1966年5月から1976年後半くらいまでの間に、現実には権力闘争がありました。そして、彼の言葉をご覧ください。「四大古の破壊キャンペーン。古い風習、古い文化、古い習慣、古い考え」これが今の状況です。今、我々が見ているものとは違うなんて言わないでください。古い風習、古い文化、古い習慣、古い考えが破壊されていくのを、今、我々は見えています。それから皆さん、思い出してください。共産主義中国の創始者である毛沢東は、おそらく、この世界の歴史の中で最大の虐殺の責任者です。フランク・ディケーターが書いた「毛沢東の大飢饉」という本、(日本語版もあります)私は、この本の一部を読んで衝撃を受けました。その本の中で書かれている事をお伝えします。皆さん、きっと衝撃を受けると思います。それはもちろん、これです。歴史上、天下無双の大量殺人者の一人である毛沢東には、4500万人以上を殺した責任がある。ヒトラー以上、スターリン以上、1958年から1962年の間に4500万人です。1958年から1962年の間に！当初推定された、ただの大惨事の範囲ではなく、多くの人々が死んだ、その方法でも…。今から私が言う事を、小さなお子さんに聞かせないようにしてください。200万人から300万人の被害者が拷問による死亡、もしくは即座に死刑され、その多くは、些細な違反行為のためでした。



湖南の村で、ある少年が一握りの穀物を盗んだ時、地元のボスである李景泉は、この子の父親に、彼を生き埋めにするように強制しました。父親は数日後に、悲しみのあまり亡くなりました。中央指導部に通報された李景権の事件では、耳の片方が切り落とされ、足は鉄線で縛られ、背中に10キロの石が落とされ、それから焼印を押されました。何のための罰でしょうか？芋を掘った為です！！それが毛沢東です！その共産主義が、今、人生を何も知らない、明らかに歴史を全く知らない、失礼なが



ら「バカ」な若者たちに絶賛されているのです！狂気の沙汰です！とても狂っています！しかし、皆さんは、たぶん思っているでしょう。「この背後にいるのは誰か？ここで何が起きているのか？」

そこで皆さんにお伝えしますが、それは皆さんが思っているよりも、ずっと暗いです。すでにご存知の方もいらっしゃると思いますが、私はここ数年、少なくとも過去10年間、「悟りを開いた者たち」イルミナティの話題を調査してきました。それを聞いて、多くの人が聴くのを止める事も知っていますが、ご覧ください。彼らは存在します。彼らが存在する事は、誰もが知っています。それは、世の中の資本の大半を所有している実業家や、銀行家の、少数の集団です。そして問題なのは、彼らが、いまだに世界を完全にコントロールできていない事です。簡単なことではありません。地球上で最も裕福な人であっても、多くの国や文化を支配することが出来るわけではありません。国粋主義の問題があるのです。文化の問題もあるし、習慣の問題もあるし、伝統の問題もあります。では、それをどう対処するか？そこで、彼らが何をするかというと、彼らは、哲学者ヘーゲルの考えを借りました。「テーゼ（命題）、アンチテーゼ（反対命題）、および統合。」これは非常に興味深いことです。その命題は、資本主義、無制限の競争です。そのアンチテーゼが、社会主義、完全な団体です。彼らが考え出した統合は、共産主義のはずでした。究極の真実、政府が必要とされない、ユートピアにつながる強制的な協力です。誰もが平和で平等になる。今、皆が求めているのは、それではありませんか？彼らは、警察を拒み、<sup>こぼ</sup>彼らは、政府を拒み、彼らは、自分たちの自治区を求め、ユートピアに住みたいと思っています。ちなみに、そのユートピアは昨日壊されました。銃声が聞こえ、あちらのCHAZで少なくとも1人の死者が出ています。そしてそれは、ほんの始まりにすぎません。ただ、勘違いしないでください。私たちは、彼らが自分たちの考えで倒れていくのを見ています。悲しいことに、このユートピア的な夢は実現しませんでした。確かに、彼らにとっては、残念でしょう。そしてヘーゲルの理論は、どうやら、うまくいかなかったようです。ところで、ヘーゲルの理論の大半は全く成功していません。理論としては優れていますが、決して機能しません。なぜなら、一つの要素を入れ忘れてありますから。神の要素です。神を愛する人々、正義、聖書です。だからこそ、信者である私たちがここにいる限り、これが通用しないのです。引き止める者が引き止めていることの一つは、まさにこういうことです。人間が自分の力で、そのようなユートピアや平和で平等な生活をもたらすことができるという考えは、とにかく機能しないのです。罪の為に。そしてそれは、唯一、誰かが罪を「罪」と呼ぶ事で暴かれるのです。何が、罪を罪にするのか知っていますか？それは、正義が対極に立っている事実です。つまり、神が律法を与えない限り、人は、罪人であることを、誰も理解できなかったのです。そして今、あなたは自分が罪人であることを理解しました。では、何も考えず、その知識が邪魔する事なく罪の中で生きていくには、どうしたらいいのでしょうか？それを知り、それを「罪」と呼ぶ人が取り除かれもはやいなくなった時です。

さて、イルミナティのおもな手口は、片側を、もう片方と戦わせる事です。ヘーゲル理論を使って、テーゼ対アンチテーゼの理論を使って統合を作ります。すべての勢力には反対勢力が起りがちで、両者の対立の結果、新たな事態をもたらします。そして、「シンテーゼ（統合）」とは…、それが彼らの名前、皆さん、イルミナティは、それを商売にして、統合で金儲けをしているのです。したがって、何の問題もありません。彼らにとって、状況を未然に防ぐ事はありません。むしろ、ソ連がやむを得ず使ったのと同じように、それがやむなく使われるのです。彼らはそれを使います。二枚舌、二重思考。ジョージ・オーウェルは彼の著書（※「1984」）の中で、実際に、自分の言っていることが分かっていた。基本的に、彼は、この二つの表現を発明していて、「断固否定する」とは「もう少し後で実現する」という意味で、そして「平和」とは、他の手段による「戦争」を意味します。彼らは皆、「平和だ」と言っています。ところで、彼らが言っているのは「正義不在は、平和不在」です。どういう意味が分かりますか？「我々の求めるものを与えないなら、お前たちに平和はない」ということです。「お前たちには、平安も法も秩序もない。」それが基本的に、「正義不在は平和不在」です。「正義」とは、自分たちが当然受けるべきだと彼らが思っているものです。それは、聖書的には本当の正義ではありません。そして、本当の権力の動きがあるとき、たいていそれは、この人たちによって密かに行われるもので、私たちは、それがわかります。ただ、皆さん知っておいてください。彼らは、ソーシャルエンジニ

アリングを多く行いました。そして、それには簡単に操られる暴徒が必要とされます。それだけです。モラルが低く、伝統に弱く、教育水準が低く、そして集団意識の弱い、人種の混ざり合った所が狙われます。そこに彼らは目をつけ、そういった特別な態度を持った者が取り出され、イルミナティに仕えるために訓練されます。何のために？技術的な目的、安全保障上の目的、またはプロパガンダの一環のために。ちなみに、この要件には中間層は余剰になりつつあり、ほぼ相対的な貧困にまで落されるでしょう。それが、彼らが望むものです。彼らは相対的な貧困に落とします。あらゆる抵抗を見せる社会の礼儀やモラルを嘲笑い、マスコミをコントロールしなければならない。それを、彼らはやっています。ファッション業界をコントロールしなければならず、教育システムのコントロールは、その戦略に不可欠な要因です。彼らは、皆を、彼らのリズムに合わせて踊らせたいのです。自由恋愛！、若者カルトです。キリスト教をあざける。それは必要不可欠です。信じられないことです！彼らは、容赦ない経済戦争を指揮しています。彼らは、景気が悪くなるのを望んでいるのです。「自分の住んでいる国の景気を悪くしたい人がいるなんて、一体どういう事だ?!」と思うでしょう。基本的には、それが彼らの狙いです。公衆衛生の基準をコントロールして、搾取するのです。オバマケアが、あれほど望まれていた理由はなぜだと思いませんか？処方箋薬の販売は、巨大利益を生み出す巨大ビジネスです。医療行為や治療は、大企業にとって非常に大きな利益をもたらします。こうした極端な治療は、それなりに必要ですが、利益のために乱用されています。分かりましたか？ほら、彼らは、皆さんが貧しくて、無学で、ほとんど何も意味のない仕事をする事を望んでいます。彼らは、皆さんが成功しないことを望んでいます。彼らは、実際、皆さんが自分で働いていないものを要求するように仕向けたいのです。彼らは、苦勞が報われないところに持って行きたいのです。これが彼らのやり方です。だから彼らは、資本主義を作り、共産主義やマルクス主義を作ります。それが今あるものです。皆さん、理解してください。私たちが、今、見ているものは、カール・マルクスが「連続革命」という本の中に、すでに書いたことです。1844年、彼は、彼の「聖家族」という本の中で書いています。トロツキー、ロシア革命の創始者の一人であるレオン・トロツキーが、実際、1906年に、彼の本に書いています。そして、理解しなければなりません。彼らは資本主義を、社会主義の安定を脅かす敵対的なものとして見ているのです。だからこそ、資本主義を外からだけでなく、中からも弱体化させる必要があるのです。資本主義国の弱小レベルは、自力で出来る事ではありません。そのため、当時のロシアは、彼らを助ける必要があったのです。そして、それがロシア革命でした。また、彼らは、ある意味で“宣教師”である使者を、他国に送っていました。実際に彼らは資本主義国を後進国として見ていました。ユートピアを持っている彼らは、革新的でした。彼らは前進し、彼らは向上する。そして私たちは、彼らが継続していることを知っています。彼らは決して、一分として止まりません。皆さん、彼らは、一分たりとも止まりません。そして、興味深いのが、彼らは、あなたの言うことに耳を傾けません。彼らは、何でも好き放題やります。共産主義は、今、復活を楽しんでいます。そして残念ながら、一つだけ言えることがあります。今、共産主義とアメリカの間に立っているのは、たった一人、ドナルド・トランプという人物だけです。そして、皆それを理解しています。彼らはそれを理解していて、だからこそ、彼らは、選挙を不正操作する、大掛かりな計画をしていて、郵送投票は、そのための主要な手段です。つまり、昨日、ニュージャージーの共和党員が郵便で投票用紙を受け取りました。投票用紙です！そして、彼らは何を受け取ったか知りたいですか？彼らに何が届いたかという、彼らは、民主党の候補者しかない投票用紙を受け取ったのです。一人も…。それを共和党員が受け取ったのです。民主党候補者の名前だけが列挙された投票用紙です。トランプ大統領が、今日ツイートしています。「これは、アメリカ史上最も不正な選挙になりそうだ。中止にしなければならない、そのような投票はできない。」皆さん、そんな話は聞いたことがありません。彼らは、オクラホマ州タルサの集会のチケットを過剰販売しようと企みました。彼らは、民主的なやり方では絶対に勝てません。だから、彼らは騙しを使うのです。彼らは欺瞞を利用します。ちなみに、共産主義者が、民主的に政権を取った所は、どこにもありません。彼らは、そういうことを信じていないのです。彼らは力づくで奪い、彼らは騙し、奪うのです。そして、ここが、私たち全員が、理解しなければならないところだと思います。11月の選挙は、アメリカ合衆国の歴史上最も重要な選挙です。ほら、これはアメリカの未来だけじゃなくて、アメリカのアイデンティティーやアメリカの過去もひっくり返すことなのです。テディ・ルーズベルトの像が、デ・ブラシオ市長、狂った男によって、道路でなく、博物館から撤去されているのです。ジョージ・ワシントンが…、ほら、これを



見た時、私は泣きそうになりました。これは、オレゴン州ポートランドにあるジョージ・ワシントンの像です。荒らされて、燃やされて、引きずり降ろされたのです。皆さんの為に、これにスプレーされた内容は見せませんが、これは、アメリカ合衆国の創設者です。これは、初代アメリカ合衆国大統領です。この人は、素晴らしいクリスチャンでした。ちなみに、念のために言っておきますが、フリーメーソンの組織がイルミナティに汚される前、彼はフリーメーソンでした。そして彼は実際に、イルミナティがフリーメーソンの内部に入り込み、ルシファー的な組織に汚染していると警告しています。それがジョージ・ワシントンです。私たちは、アメリカの最暗黒時代を見えています。そして11月の選挙では、内戦の可能性を秘めているような気がしません。もし、物事がうまくいかなければ…。そして私は、この部分に祈りがとても必要だと信じています。皆さん、知っておいてください。もし、アメリカが、それほど重要でなければ、世界は、今、彼らがあの国にしようとしていることをしようとはしないでしょう。アメリカが、世界にたくさんのゴミを輸出したのは知っていますが、しかし、アメリカは、非常にたくさんの福音も全世界に輸出しました。そしてアメリカは、若いイスラエル国を助けるために、神に任命されてそこにいました。また、アメリカは、ヨーロッパやアジアの多くの国が自由の権利、解放、民主主義を得るのを助けました。そして、だからこそ、この国を滅ぼすために、集中的な標的があるのです。外からだけではなく、ほとんどが内側から。

ところで預言的に、エゼキエルの戦争で、もはやアメリカがイスラエルの側に立たなくなる理由が分かります。また、預言的に、エゼキエルの戦争が始まると、アメリカが重要でなくなる理由が分かります。あちらで何かが起こらなければなりません。外側、もしくは内側から何かが起こらなければなりません。繰り返しますが、私の祈りは…。私は、これをずっと言ってきましたが、私の祈りは、内戦ではなく、外からの攻撃でもなく、携挙によって、最終的にすべてのものが倒れる事です。なぜなら、もし、今、携挙が起こればおそらく、地球上で唯一、政府が完全に消滅する国はアメリカだけでしょう。考えてみてください。今日の米政権の要職には、前代未聞の数のクリスチャンがいます。すべてではありませんが、たくさんいます。そんな政府を持っている、そんな国は、世界には他にありません。ですから皆さんに言いたいのは、もし、あなたがアメリカ人であればブラック・ライブズ・マターが伝えようとしているゴミを止めてください。彼らは、共産主義とマルクス主義を持ち込もうとしている闇の勢力の前線で、彼らは、かつてのアメリカ、現在のアメリカを乗っ取って、破壊し、決して存在し得ないユートピアを望んでいるのです。それは存在するかもしれませんが。ちなみに、私たちがここを出た時だけです。覚えておいてください。私たち、私たちの内に住まわれる聖霊は、引き止める者です。エペソ人への手紙6章のみことばを、思い出してください。これは、私たち全員が理解しなければなりません。

「終わりに言います。主にあって、その大能の力によって強められなさい。」（10節）

なぜパウロは、そう言っているのですか？なぜなら、身の回りのものを見ると弱気になりがちだからです。ほら、私もこれらを見ていると、疲れる時があります。しかし、パウロは言います。

「主にあって、その大能の力によって強められなさい。悪魔の策略に対して堅く立つことができるように、神のすべての武具を身につけなさい。」（11節）

それまでは…彼が何と言っているか、見てください。

「私たちの格闘は血肉に対するものではなく…」（12節a）

ナンシー・ペロシだと思いませんか？チャック・シューマーだと思いませんか？デ・ブラシオだと思いま



すか？クオモ知事だと思いますか？いいえ、彼らはただの操り人形です。彼らはただのミイラです。皆さん。

「私たちの格闘は血肉に対するものではなく、支配、力、この暗闇の世界の支配者たち…」 (12節b)

暗闇…この人たちは暗い、暗い、暗い人たちです。この世界の経済の大部分を支配しているのは、こういう一族です。彼らには、彼ら自身の儀式があるのです。悪魔の儀式が。彼らは、本当の本当に暗くて、民主党員であること、CNNに出演する事を、はるかに超えて、この人たちは、表に出て、公にルシファーを崇拝するレベルにあります。

「また天上にいるもろもろの悪霊に対するものです。」 (12節c)

見てください。サタンは投げ落とされましたが、まだ、正確には地球にいません。そう、彼はこの世の君です。そう、不法の秘密はすでに働いています。しかし、私たちはまだここにいます。私たちがここを出るまで、彼がここに投げ落とされることはありません。私たちが上がって、彼が落ちます。皆さんにお伝えしますが、これらの支配者たちは、今でも天上にいて、イエスが御父の右の座におられる所ほどには高くはないでしょうが、彼らはまだそこにいます。私たちが現在、目撃しているのは、最も前代未聞の悪魔的で邪悪な集中攻撃です。何故だか分かりますか？言うておきます。11月3日が来るからです。それが理由です。なぜならアメリカの現政権が、ブランド・ペアレントフッド（家族計画連盟）イスラム同胞団、テロ組織、イラン、ベネズエラに与えたダメージと、そして、イスラエルの地に、エルサレムに、ゴラン高原に、胎児に、世界中で迫害されているキリスト教徒に、彼ら与えた支援の為です。言うておきますが、彼らはもう我慢なりません。彼らの力、支配者たちは、それにもう耐えられないのです。彼らは、さらに4年も耐えられません。彼らは我慢できません！今、邪悪が集中していて、それが至る所にあります。ちなみに、彼らは他の場所にも影響していて、フランスやドイツ、そして今では、中東もです。そして、まさにこれを、エジプトの大統領のような指導者たちが恐れているのです。リビアやチュニジアから、自分のところに波及することを。私たちは、この不法の霊を見ている。私たちは今までにないような、邪悪な働きを見えています。なぜでしょう？11月3日のためです。彼らには、耐えられないからです。だから、私たちがここにいるのか、ここから出ていくのかは分かりませんが。でも、まだここにいるなら、皆さん、すべき事は分かっているはず。何のために祈るべきか分かっています。誰に投票すればいいのか分かっているはず。です。

そして、福音だけが、唯一絶対に変わらないことを知っていますね。そして、福音は、あなたを救う力があります。イエス・キリストの福音を恥じないでください。天の下でこの御名、イエシュア、イエスのほかに、私たちが救われるべき名は人間に与えられていません。（使徒の働き4:12参照）あなたがアラブ人で、イスラム教徒であれば、ヒンドゥー教徒であれば、仏教徒であれば、生きている神を信じているとは言えません。あなたのために死んでくださった救い主はいません。神は聖ですが、我々はそうではありません。あなたには、救い主が必要です。あなたには、すべての理解を超えた平和が必要なのです。あなたには、事態が悪化する前に、ここから連れ出されるという約束が必要です。黙示録によると、今見ているものは、これから来るものに比べれば、何でもないことです！世界の人口の1/3が消え、20億人が一掃されます！想像もつかないような、自然災害や大惨事が起こります。ここから出たいですか？神のご臨在の前に立ちたいですか？それなら信じ、信仰を告白し、バプテスマを受けて、主とともに歩んでください。今日、あなたが主とともに歩んでいるなら、あなたは明日、主とともに君臨するのです。今日、あなたが主を否むなら、明日はないかもしれません。ですから、皆さんには、主を選ぶようにお勧めし、励ましたいと思います。暗い日々が私たちの目前にあります。恐ろしい日々が待っています。しかし強い保証、強い土台、祝福された希望があり、それは主イエスです。そして、主は決して変わることはありません。そして主は約束してくださいました。

「あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」（ヨハネ16:33）

父なる神様、あなたのみことばと約束に感謝します。私たちは今、それに立ち、我々は悪と闇の力に立ち向かいます。私たちは世の光です。私たちはその光を輝かせたいと思います。そして、まだ、あなたを受け入れていない人の為に祈ります。アラブ世界の誰もが、ヨーロッパ、アジア、アフリカ、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ、どこで見たいようと、誰もが今すぐひざまずいて、あなたのおわれみを請い、あなたに罪赦され、無償で与えられた救いと共に生きられますように。イエスが、2000年前に私たちのために死んでくださったからです。

ありがとうございました。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。  
（民数記6:24~26 ヘブル語）

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。  
（民数記6:24~26 英語）

その平和は、すべての理解を超えたものであり、平和の主である、平和の君からのみ得られるものであり、いつでもどこでも、永遠にあなたに平和を与えることができます。その御名はイエシュア、イエス、平和の君イエスを心の中に受け入れれば、彼はあなたの王になってくださいます。主の御名によって祈ります。

アーメン、アーメン。

皆さん、私たちがフォローしたい方は、ソーシャルメディアでどうぞ。BeholdIsrael.orgでニュースレターをご登録いただけます。Facebook、YouTube、Twitter、InstagramはBeholdIsraelです。そしてもちろん、まだお買い求めになっていない方は、この終末と最後の日に関する2冊の本をご購入ください。「TheLastHour」と「TheDayAooroaching」です。ホームページでも手に入りますし、Amazonでもどこでも手に入ります。

皆さん、ご覧いただきありがとうございました。

God bless you !!!

イスラエル・ガリラヤより、シャローム。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.07.04 (Sat)